人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 地域における薬剤耐性菌アウトブレイク事例に対する感染対策支援介入と病原体の中央解析に関する多機関共同観察研究
	●研究の対象 研究機関の長による実施許可日から 2030 年 3 月 31 日までに、浜松医科大学医学部附属病院が薬剤耐性菌の集団発生に対する感染対策支援の対象となった病院・介護施設等に入院または入所していた方のうち、薬剤耐性菌の感染・保菌が確認された方、または感染対策のためにスクリーニング検査を受けた方
	●研究の目的 薬剤耐性菌が病院や施設内で集団発生した場合、感染の広がりを把握し、感染経路を明らかにした上で、適切な感染対策を行う必要があります。しかし、病院や施設によっては、感染対策を担当する人員や高度な病原体検査を行う設備が十分でない場合があります。この研究では、浜松医科大学と国立健康危機管理研究機構（JIHS）が中心となって実施する感染対策支援や病原体解析の内容や結果を収集・解析し、どのような感染対策が行われたか、感染がどのように広がったか、終息までにどの程度の期間を要したか、地域連携上どのような課題があったかを明らかにします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2031 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 研究用 ID を付与し、氏名などの直接識別子を除いた情報および残余分離株を、暗号化電子媒体、セキュアな電子的送信、または適切な容器による搬送で、共同研究機関である JIHS へ提供する場合があります。個人を特定するための情報は各提供機関で管理し、代表機関・共同研究機関には提供しません。
≪利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

提供する試料・情報の項目≫	情報：年齢、性別、基礎疾患、入院・入所経路、病棟移動、日常生活動作、介護度、医療・介護処置、抗菌薬使用歴、検査結果、感染対策の実施状況、感染対策支援、会議記録、地域連携等の記録、転帰等。 試料：通常診療・感染対策業務の過程で得た残余分離株、抽出DNA、必要時の環境由来分離株等。 この研究のために、患者さんから新たに検体を採取することはありません。
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 研究代表機関： 浜松医科大学医学部附属病院 古橋一樹 共同研究機関： 国立健康危機管理研究機構（JIHS） 鈴木里和 研究協力機関： ・浜松市保健所 ・浜松市保健環境研究所 ・支援対象の病院・介護施設・地方衛生研究所・保健所等
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　感染制御センター 担当者：　古橋一樹 TEL：　053-435-2799 E-mail：　k.furu@hama-med.ac.jp